

「東九州」新時代 匠の連携で

新たな体制作りと人材育成

北部九州で販路開拓 山田氏

岡村 相談スーションは当機構が運営している。業種、業態を問わず、フードビジネスを模索する利用者の頼れる水先案内人となっている。宮崎市内に13年11月に開設した。利用者が大変多く、フードビジネスの機運は盛り上がりつつある。



機器開発は加速しており、この3年間で11の産学官プロジェクトが開始している。また特区指定後、新たに4社が医療機器製造業の許可を取得。県内の医療機器関連の企業、新たに4社が医療機器製造業の許可を取得。県内企業の参入意識は着実に高まっている。山田 当社は少量多品種にもフレキシブルに対応できる生産体制が強い。だが北部九州での販路開拓はサプライヤーの厳しいコスト要求に応える必要がある。こうした視点でサプライヤーに近

起業家精神に磨きを 島原氏



「匠の連携は人づくりがポイントになる」と思っています。人材育成について教えてください。山田 人材は会社の宝であり、事業成長には欠かせない。品質意識を高めるほか、改善提案制度により改善意識を根付かせている。同時に社内活性化に向け働く喜びを分かち合う取り組みにも力を入れている。特に従業員の9割が女性性が活躍できる場づくりに取り組む。島原 今後は経営者自身の起業家精神を、さら

今後の展望

最後に匠の連携で未来を開く、今後の展望をうかがいます。岡村 経済のグローバル化が進んでいる。宮崎も世界を相手にした競争に立ち向かわなければ今後生き残れない。匠の連携を生かして世界に通用



福祉機器で地域貢献 田村氏

とも必要だ。今後は地域間の連携、地方と地方が連携することもあるだろう。地方には生かされていない良い資源がある。一方で補うべき点も抱えているからこそ、「知己同志」の連携によって新しいものを生み出す可能性を大いに秘めている。山田 北部九州ではフロンティアオフィスを拠点に販路開拓に取り組むが、モノづくりは宮崎で行う。東九州道を北上してメード・イン・東九州の魅力ある製品を売り込んでいきたい。また自社商品開発や新規事業にも着手。社である「夢や」「若さ」を前面に打ち出して、宮崎の発展に努めたい。

田村 日本人の寿命は伸びている。ただ健康寿命は実際の寿命と10年程度ギャップがあるといわ

る。今後地域の活性化に向け、健康寿命を伸ばして障害者、高齢者がより活動できる生活環境を提供していきたい。山田 そのために、宮崎大と地元企業が利用者の立場にたった福祉、リハビリ機器を提供できるプロジェクトを考えている。工学部の技術者を社会に還元し、地域に貢献していきたい。

河野 本日は意欲的な事業展開や連携などの話を聞けて、大変強く思った。皆さんのような事業者、研究者がもっと増えることで宮崎の産業を強くできると感じた。

また地域の将来を担う人材育成の重要性も浮かび上がった。14年度は人材の「財」を「財」として「将来の発展と地域を支える人財づくり」を重点施策のトップに位置付けた予算編成を行った。若者の教育や産業人財の育成に力を入れた。人財づくりはまさに成長産業を加速させるベース。人材の育成をベースに交流、連携を深め、東九州道開通によるポテンシャルを生かしていく。そして、フードビジネスやメディカルなどの産業の伸び代を埋め、宮崎の発展につなげていきたい。東九州の新時代の幕開けを迎え、東九州をけん引するような宮崎づくりを目指していく。

「つなぐ」力で宮崎県産業の振興を目指す

「つなぐ」力で宮崎県産業の振興を目指す

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社

品質をときめきに 霧島酒造株式会社